

小柳よしふみ

その他の委員会での質疑

総合政策委員会(議案外質問)

Q 避難所運営委員会に参加していない自治会があった。すべての自治会が避難所の運営委員会に参加し、災害時に不便が生じない対策を求める。

回答▶自治会の届け出の際に、区役所の方から避難先の場所、避難所運営委員会などの説明をし、違う区に避難する場合には、実際に避難する区の総務課と調整してお知らせするようにする。

他に、市の補助が出る対象資機材の拡充(簡易除雪機や通電火災防止器具など)外国籍やバイリンガル職員の状況と活用促進、等に関して質疑を行いました。

小柳よしふみ地域活動



福島第2原発の視察
原発の中からの視察



手話勉強会
「手話言語条例」の制定に向けて



宇都宮クリテリウム大会の視察
@宇都宮市清原台団地



北浦和駅西口エレベータ
3月28日より利用開始



さいたまシティマラソン完走
ハーフの部完走



カーブミラーの設置
狭い路地は見通しが悪く危険

予算委員会 平成26年度予算について、総合政策(一部)、市民生活両委員会所管部分について予算委員として以下の観点から小柳が質疑を行いました。

総合政策委員会：財政・行革・シティセールスなど

- 1 予算編成において1件査定にした目的と効果について
- 2 プライマリーバランスがマイナスになっている点についての見解
- 3 財政調整基金の大幅な取り崩し予定に関して
- 4 行財政公開審議のテーマ選定や結果の予算編成への対応について
- 5 部に昇格するシティセールスの来年度の活動について
- 6 東京事務所の役割と来年度の新たな取り組みについて …等

市民生活委員会：文化・芸術・スポーツ、地域・環境など

- 1 「文化・芸術のまち」という市民が15%という事に関する見解
- 2 さいたまトリエンナーレ事業に関して
- 3 多目的広場の拡充について
- 4 さいたまシティマラソンのフルマラソン化について
- 5 「空家等の適正管理に関する条例」の制定後の効果と課題
- 6 本市のエネルギー需給状況、次世代自動車・スマートエネルギー特区事業、アスベスト飛散防止対策について …等

さいたま市立病院の建替え計画

さいたま市立病院の整備基本計画がまとまった。医療機能の充実、配置換えによる効率化のため免震構造の新棟に建替えをする。
主な充実される予定の機能は、

- 1.救急医療の充実 救命救急センター20床の新設、救急外来の拡張等
- 2.急性期医療の充実 手術室ICU等の増設・高度化、無侵襲治療等への対応機能の充実
- 3.がん医療の強化 地域がん診療連携拠点病院としての診断機器や緩和ケア機能の充実。患者、家族に対する相談室など支援機能の強化
- 4.周産期医療の強化 24時間体制でハイリスク妊婦、胎児異常、新生児、母体救急まで一貫した高度な医療を実施
- 5.その他 歯科口腔外科の新設、透析医療の拡充、眼科の体制整備等

病床数も637床へ拡大(現行567)。平成31年に開院予定です。
災害時にも自立的に医療機能が継続できるように、エネルギーセンターの耐震化や非常用発電機の拡充、地下水を活用した水の確保なども進められている。

〈整備後の病院機能部分面積：約53,000㎡〉



こやなぎ

小柳よしふみ

小柳よしふみ 事務所 〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233
E-mail info@koyanagi.jp ホームページ <http://koyanagi.jp/> ブログ <http://ameblo.jp/y-koyanagi/>

小柳よしふみ 検索
市政レポート
2014.4 vol.12

浦和っ子

平成26年度予算が成立！
～しあわせ倍増プランを着実に進行～

さしこむ日差しもすっかり温くなった今日この頃ですが、皆さまにおかれましてはお変わりなくお過ごしのことと思います。

さて、さいたま市議会は、2月7日開会の2月定例会が3月20日に閉会しました。予算委員会のメンバーとしても参加した今議会は、中身の濃い長丁場となりました。

平成26年度予算が成立し、しあわせ倍増プラン2013の進行を加速させるものと期待されます。その予算編成の手法がこれまでの局長マネジメント方式(全局にシーリングをかけその後各局長が査定)から、1件査定(財政と各局による事業ごとの査定)に変わりました。清水市長2期目の最初の予算であり、総合振興計画 基本計画がスタートする節目の年です。予算全体を見渡し、政策のバランスを再検討できる1件査定にしたことは、有意義なことだと考えています。

また、さいたまクリテリウム by ツールドフランスに関しては、予算委員会内の小委員会設置により特段の審議も行われました。(中面参照) 市政15周年となる平成28年には、さいたまトリエンナーレ(芸術祭)やさいたまシティマラソンのフルマラソン化も検討されています。大きなイベントによる市のイメージアップや新たな財源の確保は大事なことです。一方、日常生活における市民満足度のアップも求められています。個人的には、比重は後者においています。それが市長の提唱する「選ばれる都市」への王道であると考えからです。ただし、行政の役割は、日々の幸せな生活とともに街の将来へ夢を持たせることです。そのバランスは難しい。議員として、しっかりチェック機能を果たすとともに、有益な提案ができるように活動して行きたい。

小柳よしふみの活動に今後もご期待ください。

- 昭和40年(1965年)8月27日生まれ A型
- 浦和市立高砂小、岸中、県立浦和高、慶應義塾大学商学部卒業。
- 埼玉銀行を経て、警備会社を経営。平成23年5月よりさいたま市議会議員(浦和区)。
- 総合政策委員会、予算委員会所属。



毎月第3日曜16時から浦和駅西口駅頭でお伝えしています。

さいたま市TOPICS

1. 平成26年度予算が成立 (中面記事参照)

「しあわせ倍増プラン」や「さいたま市成長戦略」の推進のため、待機児童対策や東日本の中枢都市としてのまちづくり等に重点配分。一般会計予算4,649億円(前年比103.9%)総予算約8,986億円(同103.6%)。個人市民税や家屋の新増築による固定資産税の増収などにより約28.8億円の増収見込み。微増ながら人口増加の影響が見える。

2. 浦和駅西口高砂南地区の開発組合が認可

浦和駅西口高砂南地区の開発組合が承認され設立。平成27年11月頃着工、平成30年12月頃竣工の予定で事業が進められます。

3. 下水道料金の値上げ

4月1日から平均21.5%の値上げ。これまで、下水道会計には一般会計より繰入れがされ(今後4年間で約111億円の見込みであった)、現料金では経費回収もできていない状況。値上げ率が大口使用者ほど高い設定で中小企業への影響は大きく、会派として意見書を提出。

4. 中山道の無電柱化など街路整備決定

中山道の浦和区仲町交差点から浦和橋手前までの区間の整備が進む。歩道3m、自転車道1.5m、車道3mの2車線で全幅15mとなり無電柱化も(現況11m)。今春から約7年での完成予定。

ご来場をお待ちしております！

第12回市政報告会

北浦和クイーンズ伊勢丹3F 入場無料

日時：平成26年5月11日(日) 18:30～19:45

会場：北浦和カルタスホール 第一会議室

小柳よしふみ事務所

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F
TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233

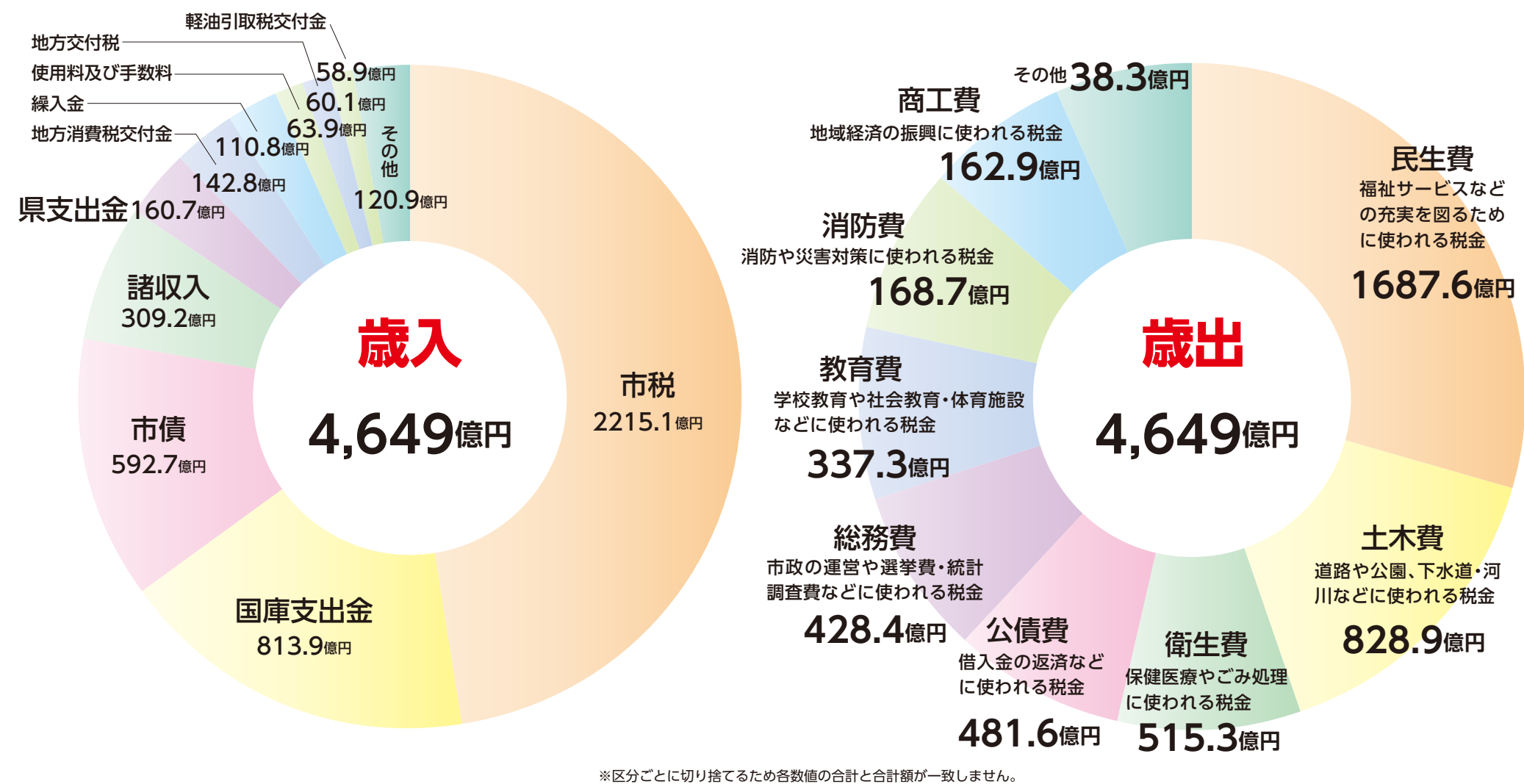
E-mail info@koyanagi.jp ホームページ <http://koyanagi.jp/> ブログ <http://ameblo.jp/y-koyanagi/>

1F「理容うらわ」の2F
小柳よしふみ事務所



さいたま市平成26年度予算

一般会計予算

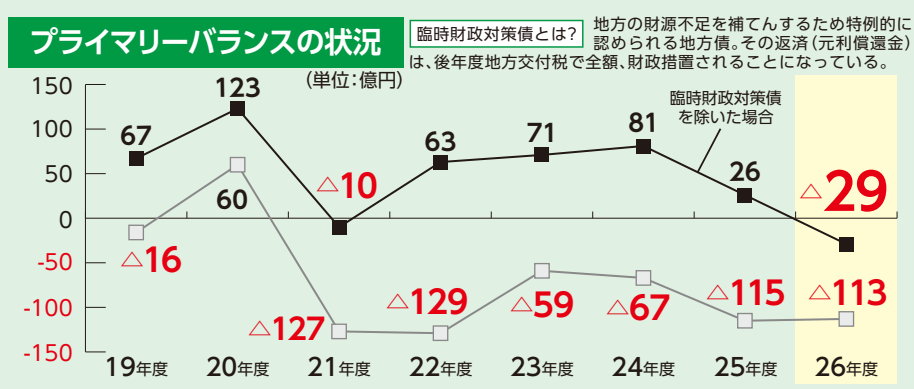


福祉や教育、公園や道路の整備に使われる予算は…	一般会計	4649億0000万円
国保や介護保険など特定の収入がある事業は…	特別会計	3152億5800万円
病院・上下水道事業は…	企業会計	1184億3204万円
	合計	8985億9004万円

前年度比
+3.6%

小柳よしふみの視点

平成22年度から歳入に占める市税収入の割合が50%を切っています。(平成26年度47.6%)市債残高も増加傾向であり、来年度は臨時財政対策債の残高も増え続けています。よく他の政令市との比較がされますが、指定された年も環境も違う中での比較よりも、むしろ、本市の経年変化に注目するべきと考えています。ただ、現在、本市の財政指標は、全体としては健全性を示すものとなっています。



平成26年度の重要施策と主な事業

- 1

環境・アメニティ

環境エネルギー対策の推進

 - ◎全市立学校への太陽光発電設備及び蓄電池の設置(平成25年度25校、平成26年度61校)
 - ◎次世代自動車・スマートエネルギー特区事業の推進
- 2

子育て・健康福祉

待機児童対策関連事業の推進

 - ◎民間認可保育所の整備(新設5 定員460人、増改築4 定員110人)
 - ◎保育コンシェルジュを全区に配置
 - ◎小規模保育事業の開設準備支援

健康・福祉事業の推進

 - ◎シルバーポイント事業、アクティブチケット交付事業の推進
- 3

教育・文化・スポーツ

文化・芸術大規模イベントの開催準備

 - ◎平成28年度予定の(仮称)さいたまトリエンナーレの準備やキックオフイベント、平成29年度の世界盆栽大会開催へ向けた関連事業

スクールアシスタント配置事業

 - ◎現在の7つの補助要員を統合、教員免許状を有する人材の配置
- 4

都市基盤・交通

市街地まちづくり事業の促進

 - ◎浦和駅西口南高砂地区再開発や県庁通りの整備促進
 - ◎大宮駅東口大門2丁目中地区の実施設計や権利変換計画の作成

自転車通行環境整備

 - ◎歩行者の安全確保と自転車の安全快適な走行のための環境整備、自転車まちづくり推進課の新設
- 5

産業・経済

さいたま医療ものづくり都市構想推進

 - ◎医療機器関連分野への新規参入・事業拡大の支援

さいたまクリテリウム by ツールドフランスの実施

 - ◎世界的な自転車イベントで地域経済の活性化
- 6

安全・生活基盤

防災対策事業

 - ◎行政防災無線のデジタル化の推進
 - ◎既存建築物の耐震補強等への助成事業
 - ◎消防団車庫や資機材の整備、処遇改善、無線従事者の養成
- 7

交流コミュニティ

コミュニティ助成事業

 - ◎みこし等の屋外備品、その他屋内備品整備に関する経費の一部補助

さいたまクリテリウム
by ツールドフランスについて

来年度の本事業関連予算は、小委員会が設置され別途審議されました。別表のような予算内容です。また、さいたま市が主催者、ASO社、観光国際協会、スポーツコミッションなどが共催者、実行委員会は実行部隊、市に事務局機能を持つ部署を新設する形となり責任分担が明確になりました。地域経済への貢献や徹底した収支管理、説明責任の遂行などに関する付帯決議付きの承認です。参画予定の広告代理店の選定や事業推進能力も重要です。昨年の教訓を生かし、多くの皆様のご協力や知恵を結集して、素晴らしい事業にしなければなりません。今後の事業の進行をしっかりと注視して参ります。



収入の部	26年度 予算額	支出の部	
市補助金	3億3000万	事業費	5億8350万
民間補助金	5000万	広報費	3000万
協賛金収入	2億1000万	総務費	4600万
有料席売上収入	5000万	雑費	500万
雑収入	2000万	支出合計	6億6000万
収入合計	6億6000万		